

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

このたびの地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。コープいしかわが組合員のため、職員のため、そして地域社会の一員として全国の生協とともに取り組んだことを報告します。
(3月12日現在)



宅配事業 どこにいても、安心して利用が続けられるように

のと北部センターからの配送再開

輪島市 能登町の一部で配送再開

2月12日(月)から輪島市門前町の組合員33名の配送を再開し、2月26日(月)からは輪島市 能登町の一部での配送を再開しました。



▲2月4回企画で954名にカタログを配布できました

「注文書書いたよ〜。生協の注文書書いてたら少しだけ普通の生活に戻れた気がするね」と組合員さん。そんなこと言ってくださると思ってもおらず、とても嬉しかったです。今までと同じ日常に早く、でも少しずつ近づくといいなと思います。
(のとセンター 西村 武博さんの2月22日(木)の振り返りシートより)

珠洲市で配送再開

2月26日(月)から珠洲市で再開希望組合員へカタログを配布し、3月11日(月)から配送を再開しました。



▲カタログと一緒にお届けした支援品



▲のと北部センター職員と応援職員

一人暮らしの高齢の組合員さんで地震が発生した後、避難所にも行かず、ずっと一人で自宅で生活していたと言われました。今までのように生協の配送を再開させていただくことをお伝えすると、「久しぶりに人と話をした」と喜んでいただきました。
(のとセンター 徳木 守さんの2月29日(木)の振り返りシートより)

コープ共済 お見舞い訪問

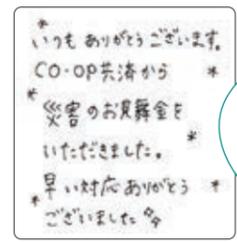
2月12日(月)から全国の生協とコープ共済連の職員による20チーム(2名1組)体制で、羽咋市や志賀町での再訪問も含め七尾市と穴水町を中心に、コープ共済を契約している組合員のお見舞い訪問活動を実施しました。避難している組合員を探して輪島市で29か所、穴水町で26か所の避難所を訪問しました。



▲避難所となっている穴水町の集会所に案内を掲示させていただきました



▲輪島市の避難所の掲示板にも「宅配利用の組合員様へ」の案内と一緒に貼らせていただきました



▲注文用紙に付けて出された組合員からのメッセージ

訪問した職員の感想

行政や他の保険会社の人、普段近くにいる人などには話せないような被害の状況や心情などを伝えていただくことが多く、お見舞いだけでなく、このような話を聴くことが訪問の意義なのだと考えました



地域とともに 地域の一員としてコープいしかわができることを

仮設住宅入居者へコープの調味料をセットで

2月29日(木)、能登町の応急仮設住宅に入居する66世帯へコープの調味料が入った商品セットを日本生協連のご協力を得て提供しました。少しでも安心して生活を始められるように、暮らしの必需品である調味料をセットにしました。能登町以外にも仮設住宅の建設を進めている自治体と調整を進めています。



▲袋詰めは特例子会社ハートコープいしかわで行っています



▲調味料のセットを入居前のお部屋にメッセージを添えてお届け



▲コープのエコバッグに入れてお届け

災害時支援協定に基づく自治体からの要請対応	
野々市市	野々市市への避難者用おにぎりとパンを約80個、毎日お届け
石川県	粟津温泉の2次避難所2か所へ約35名分の朝食の3食を毎日お届け

輪島市で約4,000食分の朝食用食品をお届け

2月26日(月)から輪島市約2,300食、門前町約1,300食、町野町約400食、合計4,000食のパンや野菜ジュース、インスタントスープといった朝食用の食品を毎日お届けしています。今後、牛乳や無調整豆乳などバリエーションを増やしていきます。

金沢市内みなし仮設用生活必需品「くらしと生協」で調達

3月1日(金)から金沢市内の賃貸型応急住宅(みなし仮設)への避難者のために金沢市が給与する生活必需品を日本生協連通販本部(くらしと生協)で受注し宅配便でお届けしています。肌着や寝具、衛生用品や鍋、皿といった台所用品、掃除洗濯用品や電気ストーブなどで、約400世帯を想定しています。

珠洲市で避難所までの物資輸送支援

物資拠点となっている珠洲市健民体育館から避難所への物資輸送支援を継続しました。2月13日(火)から3月8日(金)までコープいしかわ職員と日本生協連の物流子会社シーエックスカーゴ社員が配送トラック2台で対応しました。



▲朝8時の集品作業から始まります

組合員と子ども食堂による応援ボランティアで炊き出し

3月2日(土)、輪島市からの避難者が過ごす額谷ふれあい体育館(金沢市)で、コープいしかわ組合員による応援ボランティアと笑顔の子ども食堂ネットワークGOHANさんと協力して炊き出しをしました。



▲おにぎりやみそ汁、野菜炒めを150食程度調理しました

組合員ができることから復興支援に取り組む応援ボランティア登録募集中!
現在145名(3月15日現在)が登録



能登町で活動するNPO・NGOへ寄付

発災直後から避難所や被災者支援をしているNPO法人リエラ(大分県)と災害NGO結(沖縄県)に日本生協連の嶋田統括専務とともに各100万円を寄付する目録を贈呈しました。この2団体は、これまでの被災地支援活動で日本生協連とつながりがあり、コープいしかわから寄付金の一部を拠出しています。



▲目録を渡す大谷理事長 2月20日(火)旧西岸小学校にて

広がる支援で心をひとつに コープいしかわの組合員と職員のために

コープいしかわ職員がのとセンター、のと北部センターで配送同乗支援

2月13日(火)より毎日13名のコープいしかわ職員がのとセンターのと北部センターの配送同乗をしています。宝達志水町以南の地域を配送する担当者だけでなく店舗事業や本部職員が、能登の組合員や職員と接する中で感じたことや考えたことを自部署で他の職員へ発信し、今後の仕事の中で能登のために何ができるかを考えるためです。これは、全国の生協職員に能登以外の4つの配送センターの配送を担っていることで実現できています。



▲同乗するコープこまつの岡山店長

支援いただいた生協 (2月12日~3月22日)

いばらきコープ、いわて生協、エフコープ、大阪いずみ市民生協、おおさかバルコープ、大阪よどがわ市民生協、おかやまコープ、京都生協、コープあいち、コープあおもり、コープあきた、コープえひめ、コープぎふ、コープぐんま、コープこうべ、コープさっぽろ、コープしが、コープデリにいがた、コープデリ連合会、コープながの、コープみえ、コープみらい、コープみらい(埼玉)、コープみらい(千葉)、コープみらい(東京)、生活クラブ神奈川、生活クラブ東京、生協共立社、生協しまね、生協ひろしま、東都生協、とくしま生協、鳥取県生協、とやま生協、トヨタ生協、ならコープ、パルシステム茨城 栃木、パルシステム神奈川、パルシステム群馬、パルシステム埼玉、パルシステム千葉、パルシステム東京、パルシステム連合会、福井県民生協、みやぎ生協、ユーコープ、ララコープ

被災された職員はご自身のことでも大変な中、親身になって組合員さんに寄り添っている姿を見て、私もできることをして少しでもお役に立ちたいと思いました。生協が配達に来てくれることを大変喜んでくれていた組合員さんの姿を見て、今後も組合員さんの気持ちに寄り添いながら現場応援や本部の仕事もしていきたいと思いました。
(組合員活動部 田谷 英里佳さん)

全国の生協からの支援

1月には、全国の生協職員にのとセンターで配送応援をしていただきましたが、2月13日週より、湊、古府、鶴来、小松センターの計14コースの配送をしていただいています。



▲生活クラブ東京の職員が2名体制で小松センターの配送応援

全国の生協さんから来てくださっている配送応援の方々に感謝!ありがとうございます。
(野々市市 H.Oさん とらいあんぐるおたよりより)